

# 草深たまご通信

草深の卵をご利用いただきましてありがとうございます。  
この秋、風水害の被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。草深の被害は最小限にとどまりましたが、備えの大切さが身に沁みました。

## 雄鶏♂その後・・・。



4月に入荷した雄鶏4羽の続報です。雌鶏よりも30日若く入荷し、1か月ゲージで育てた後に雌鶏と一緒にしたところ、雌鶏たちにいじめられてしまい、昨年4月に入荷した1期の雌鶏と同居して元気に過ごしている・・・ここまで前号でご案内しました。元気に威厳を保っていましたが、今年8月にその1期の鶏が入替えとなりましたので、雄鶏たちは8月に入荷した2期に引越しました。雌鶏たちから暖かく迎え入れられましたが、4羽の中でやや体が小さめの1羽が他の雄鶏からいじめられるようになり、その後雌鶏たちからも突かれるようになってしまいました。一時個室に避難した後、現在は10月に入荷した1期に移動し、穏やかに君臨しています。夏場、雄鶏が4羽一緒に過ごしていたときは、一緒に過ごす雌鶏が産んだ卵を「有精卵」として、販売しておりましたが、現在は雌70羽に対して雄3羽となり、表示基準に適合しないため、「有精卵」としての扱いはしていません。

## 近隣の農家から、稲わらや籾殻をいただきます。

鶏舎には稲わらや籾殻を敷いています。産卵箱にも籾殻を入れます。メンバーも農家や田んぼに行って、集めたりトラックに載せたりして作業しています。

社会福祉法人印旛福祉会

いんば学舎・草深 にわとり農場班

〒270-1337 千葉県印西市草深字柿録 484-3

TEL. 0476-48-6411 FAX. 0476-48-6400

<http://inba-g.or.jp/shisetsu02.html>

第10号 2019年12月9日発行

## 8月、10月にボリスブラウンが入荷。



4月に続いて、2期鶏舎に8月、1期鶏舎に10月、それぞれ70羽ずつのボリスブラウン(雌鶏)が入荷しました。概ね120日齢で入荷し、それから1年半飼育しています。鶏の寿命は10年くらい、数年は産卵するといわれています。2年で廃鶏処分(現在は業者に依頼しています)にするのは、産卵率が落ちて効率が悪いということなのですが、感謝の気持ちを忘れずに卵をいただきたいと思います。

ちなみに食用の鶏肉は、一般的なブロイラーでは孵化後50日ほどが一般的のようです。地鶏などで80日長くても150日くらいが限度のようです。



新しい鶏が入荷する前の週は、3~5日程かけて鶏舎の土の入れ替えをします。今年度は、養鶏班だけでなく、他の班のメンバーと共働して行っています。猛暑の中でもがんばりました。



いんば学舎・草深では、

12月28日(土)~

1月5日(日)は

冬季休業となります。



草深キャラクター「そうし君」